

置き薬由来

客員相談役 藤井 基之



今は市販薬販売といえば薬局や薬店、スーパー、ドラッグストアなどが主役で

すが、日本には「配置販売業」という世界でも例を見ない医薬品小売業があります。いわゆる「置き薬屋さん」です。主に、薬局や薬店の少ない町や村の家々、今日では団地なども回って胃腸薬や風邪薬などの配置薬を置いていき、一年後くらいにもう一度そのお宅を訪ねて、その間に使った分の代金を支払ってもらい、また新しいものに置き換えて一年後に再訪するというシステムです。この販売方法は「先用後利」といわれ、もう三百年以上の歴史があるそうです。今風にいえば「クレジット販売」ですが、

そんな、現代的な販売方法がはるか昔からあったわけですよ。

置き薬の生産といえば、富山、滋賀、奈良、熊本などが盛んですが、富山の配置販売が最も有名です。では、何故、富山でこのような販売方法が発達したのでしょうか。いくつか説があるようですが、『富山県薬業史』に次のような話が紹介されています。

時は慶安の頃といえますから一六四八年から一六五二年、今から三五〇年ほど前のこととなります。四代將軍家綱の治世。將軍のご落胤と称する由比正由紀が、幕府転覆を謀ったという慶安事件が起こった頃です。富山藩に第二代藩主

で、前田正甫という方がおられました。

この方は大変優れたお殿様で、新田の開発、農業用水の開削、塩座の設置、製鉄の復興など、藩財政の強化策を積極的に推し進めました。中でも、「衛生」ということを重んじ、医術に熱心でいろいろな処方薬を自ら作られていたそうです。

そんな正甫公の家臣の日比野小兵衛が、岡山で萬代常閑という医師から「反魂丹」という薬の処方方を教えられました。ある時、正甫公が腹痛で苦しんでいたとき、小兵衛はただちに反魂丹を作り、献上。するとたちどころに腹痛が治まり、正甫公は大いに喜ばれました。それからというもの正甫公は反魂丹を印

籠に入れて持ち歩いておられました。ある日、江戸城にて、ある藩のお殿様が腹痛で苦しんでいました。そこで正甫公が反魂丹を上げて飲ませますと、腹痛はすぐに治まりました。すると、これを見た他の藩のお殿様たちが感心し、諸国へこれを売り広めてほしいと懇望されました。そこで正甫公は早速、松井屋源衛門に諸国への行商を命じました。それが富山の置き薬の由来だそうなんです。

JR北陸本線で富山県に入るとすぐ、

山際に立つ「くすりの富山」という大きな看板が目につきます。今日でも富山は全国四位の医薬品の生産県です。医薬品製造業に従事する人は平成十九年の調査で人口十万人当たり五八・六人（全国平均七・三人）、同じく製造所数は人口十万人当たり九・一か所（全国平均一・四か所）、平成二十年末現在で配置販売業従事者数一五二七人で、いずれも全国一位だそうです（データはいずれも社富山県薬業連合会HPより）。

今は地方の時代といわれ、村起こし、町起こし事業が各地で盛んに行われていますが、三五〇年も前に時の為政者が推進した産業が、今なお地域経済を支え続ける。中央、地方を問わず、政治のありようは国民、市民生活に大きな影響を与えます。目先の人気だけをねらったバラマキ予算を見ていると、将来を見据えた政策が今こそ必要ではないか、とつくづく思います。

藤井 基之

- 生年月日 昭和22年3月16日
- 選挙区 参議院比例区
- 当選回数 1回
- 出生地 岡山県岡山市
- 趣味 音楽・読書
- 個人ホームページ

http://www.mfujii.gr.jp/

- その他 薬学博士・薬剤師
- 私の政治信条

私の政策の柱はA(エイジフリー)B(バリアフリー)D(ドラッグフリー:薬物乱用のない社会)社会創りです。

高齢者も、障害を持つ方も、国民誰もが安心して暮らし、元気で生活を送ることのできる長寿社会を創るために何が必要か、を政治活動の根底においています。

好きな言葉「昨日の夢は、今日の希望、そして明日の現実」

●活動報告

参院議員厚生労働委員会理事として、食品安全確保のための食品衛生法改正、健康増進法改正、薬事法改正、薬剤師法改正、クリーニング業法改正、国民年金法改正等に関与。

●経歴

- 昭和37年 岡山大学教育学部附属中学校卒業
- 昭和40年 岡山県立岡山操山高等学校卒業
- 昭和44年 東京大学薬学部薬学科卒業
- 昭和44年 厚生省入省
- 平成9年 厚生省退官
- 平成9年 財団法人ヒューマンサイエンス振興財団専務理事
- 平成12年 日本薬剤師連盟副会長
社団法人日本薬剤師会常務理事
- 平成13年 参議院議員
- 平成16年 厚生労働大臣政務官
(平成16年9月~平成17年11月)
- 平成19年 日本薬剤師連盟顧問

●その他

- 慶應義塾大学薬学部 客員教授
- 昭和大学薬学部 客員教授
- 東邦大学薬学部 客員教授
- 新潟薬科大学 客員教授
- 京都薬科大学 客員教授
- 近畿大学薬学部 客員教授
- 千葉大学薬学部 非常勤講師